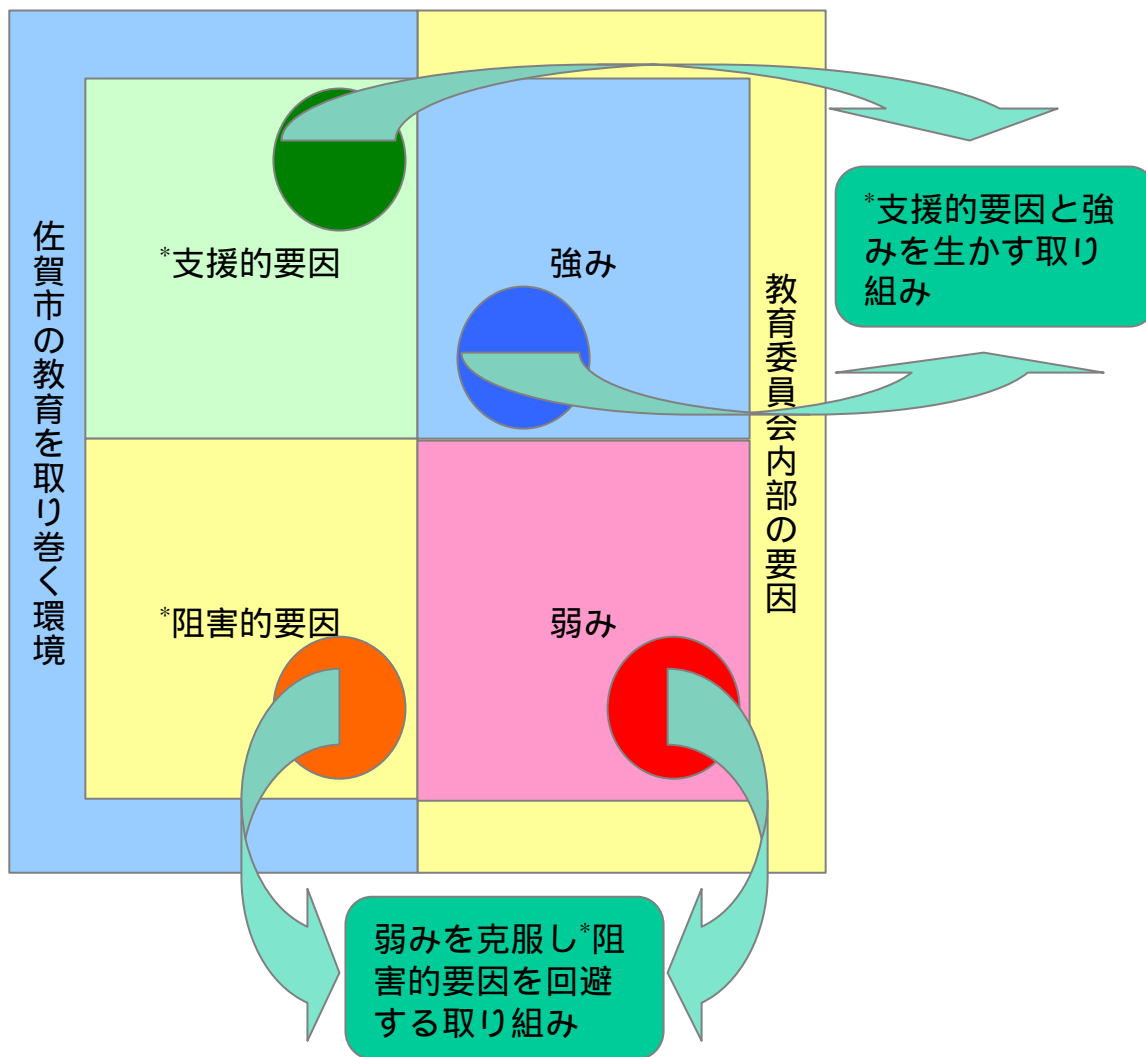


佐賀市教育委員会では、前に述べた基本目標と基本方針、51ページ以降に示す施策や基本事業を基にさまざまな事業を展開していきます。その中でも今後5年間で重点的に取り組む事業を再構成し、4つの重点プロジェクトを定めました。

重点プロジェクト検討のイメージ



重点プロジェクト



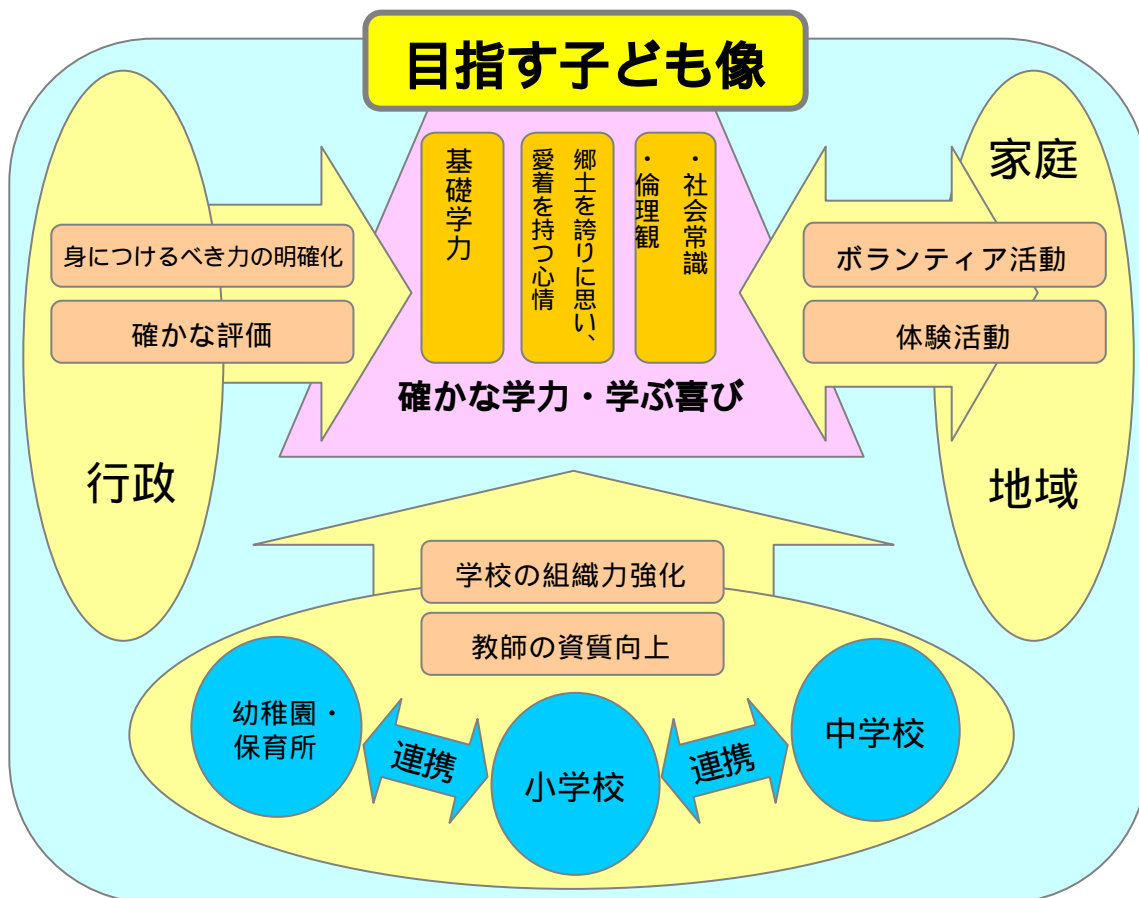
重点プロジェクト

高めよう! 幼・保・小・中の 教育の質」向上プロジェクト ～ 公教育が目指す子ども像の明確化 ～

概要と目的

佐賀の子どもたちが中学卒業時(15の春)に身に付けるべき力を「目指す子ども像」として明確に示し、子どもに確かな学力を身に付けさせ、学ぶ喜びを感じさせる教育システムを創ります。このために、佐賀市教育委員会がすべての子ども行政を担当しているという強みを生かして家庭、地域、学校の連携を図るとともに学校の組織力や教師の資質の向上を図ります。

<重点プロジェクト のイメージ>



(1) 内容

1) 子どもに確かな学力と学ぶ喜びを身に付けさせる

具体的な取組み

目指す子ども像の明確化と確かな評価

佐賀市として目指す子ども像、教師像を明確にし、各学校の*教育課程においても、各学校の特徴を踏まえて目指す子ども像を明確にしていきます。

また、義務教育修了時に身に付けておくべき力が確実に身についたかを評価し、保護者に分かりやすく説明することで、教育現場への信頼の向上をはかります。

体験活動の充実

学校での体験活動の内容を充実するとともに、学級、学年、生徒会など様々な規模や単位で取り組むことができるよう体験活動への取り組みを支援していきます。

2) 教育ネットワークの強化

具体的な取組み

幼・保・小の連携強化

小学1年生の指導内容が、幼稚園・保育所の内容と重なっていて興味・関心が高まらなかったり、指導内容や方法が幼稚園・保育所と大きく違って順応できなかったりする場合があります。このため、1年生の段階で、小学校の学習や生活に対する意欲が失せてしまう児童もいます。

また、小学校入学までに自分の思いを伝えたり、他人の意見を聞いたりする経験が十分にされていないと、友人との*コミュニケーションがうまく取れなかったり、小学校での学習内容を理解できなかったりする問題が起きています。

そこで、幼稚園・保育所から小学校への接続期における育ちの連続性を重視した指導内容と方法を研究し、「食育」の充実を含んだ幼児期、学童前期の連携を強化していきます。

小中の連携強化

小中連携教育や一貫教育での実践を通して、義務教育9年間で計画的かつ継続的な指導のカリキュラムを作成し、活用法を検討していきます。このことで、小中学校の段差を少なくし、より円滑なものにするとともに、児童生徒の発達段階に即した生徒指導方法を検討していきます。

また、小学生と中学生の交流を継続的に行い、児童生徒の心の発達に思いやりの気持ちが現れるよう図っていきます。

その他、小中学校の教職員の意識の違いから生まれる教科指導や生徒指導等の課題の解決を目指し、教職員の意識改革を促します。

ボランティアを通じた家庭・地域社会との連携強化

保護者や地域の人々が授業や学校行事などにボランティアとして積極的に参加できるよう働きかけていきます。

また、児童生徒のボランティア活動を教育課程に位置付け、地域や社会に貢献する心を育てます。

市立図書館と学校図書館の連携

公立図書館と学校図書館の図書などの資源共有をすすめ、資源の効率的な利用を図るとともに学校図書館の内容の充実を図っていきます。

3) 学校の組織力、教師の資質の向上

具体的な取組み

研究所機能の見直しと充実

教育研究所の情報収集、情報提供機能の強化を図るとともに、これまでの課題研究・児童生徒理解研究 個人研究に加え、教職員研究グループへの助成金制度を新設していきます。

また、校長会の政策形成能力を強化し、現場のトップによる政策を具現化していきます。

特色ある学校づくりを目指した教職員配置

校長が学校運営上、特色ある学校づくりを推進するため、教職員の配置替を充実させ、適材適所の人事配置を進めます。

(2) プロジェクトの進め方

スケジュール

(1)内容	具体的な取り組み	担当課	スケジュール				
			H18	H19	H20	H21	H22
1) 子どもに確かな学力と学ぶ喜びを身に付けさせる	目指す子ども像の明確化と確かな評価	学校教育課・教育総務課	実施		重点実施	実施	評価年度
	体験活動の充実	学校教育課・学事課	実施		評価年度	実施	
2) 教育ネットワークの強化	幼・保・小の連携強化	こども課・学校教育課・学事課	実施		評価年度	実施	
	小中の連携強化	学校教育課・学事課	実施			評価年度	実施
	ボランティアを通じた家庭・地域社会との連携強化	学校教育課・青少年課・生涯学習課	検討	実施	重点実施	実施	評価年度
	市立図書館と学校図書館の連携	学校教育課・市立図書館	重点実施	実施		評価年度	実施
3) 学校の組織力、教師の資質の向上	研究所機能の見直しと充実	学校教育課	重点実施	実施		評価年度	実施
	特色ある学校づくりを目指した教職員配置	学校教育課	検討	実施	重点実施	実施	評価年度

重点プロジェクト

やるぞ！市民総参加子ども育成プロジェクト ～ 市民が育てる佐賀の子どもたち ～

概要と目的

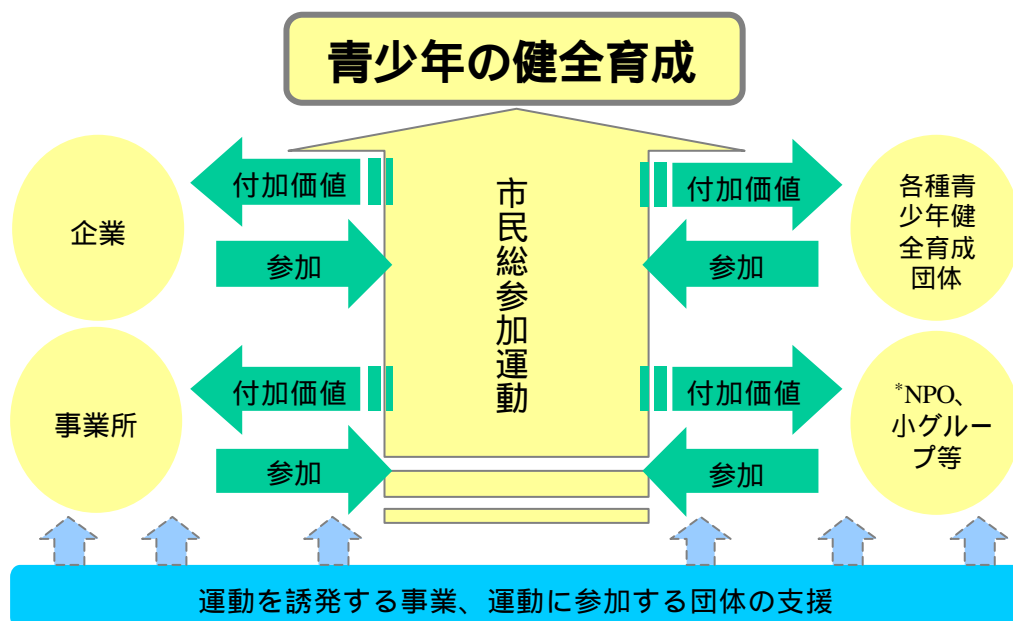
これまでも、佐賀市では、家庭の教育力の向上や、青少年の健全育成のためにさまざまな取り組みを行ってきました。しかしながら、関係団体への行政からの依頼や事業の実施だけでは、佐賀の子どもを見守り育てていく気運の高まりが市民全体での運動としては広まらなかったのが現状です。

そこでまず、家庭・地域・学校・行政それぞれの役割を明確にし、その上で企業や事業所なども巻き込んだ、市民総参加での青少年健全育成運動を展開します。「やらされている」意識から「自ら取り組む」意識への変容を図り、文字通りすべての市民が子どもたちの教育や子育てに関心をもつ社会を目指します。

さらには、この運動を盛り上げるために、運動に参加することにより団体や企業・事業所などの取り組みに付加価値をつける仕組みをつくり、市民運動に参加する気運を高めていきます。

あわせて、教育委員会では、この運動を誘発する事業を実施していきます。

<重点プロジェクト のイメージ>



(1) 内容

1) 市民総参加での青少年健全育成運動

具体的な取組み

運動理念の明確化

佐賀市の青少年健全育成の方向性を示し、市民を巻き込んだ市民総参加運動の理念を構築します。また、家庭・学校・地域・行政それぞれの役割を明確にします。

運動推進母体の構築

様々な方面に存在する、青少年の健全育成を目的とする協議会などを整理し、市民総参加運動の推進の為に推進母体として再構築します。

認証制度の構築

企業・事業所などが、青少年の健全育成のために、自分たちのできることを積極的に取り組み、活動内容について推進本部による認証を受けることで社会的に認められるような特典を行使できる制度を構築します。

運動の推進

佐賀市の広報媒体などにより活動を紹介し、市民総参加の運動となるよう推進していきます。

2) 関連して教育委員会が行う事業

具体的な取組み

運動に参加する団体、市民の学習の機会の提供と支援

運動に参加する団体、市民に、学習の機会を提供したり、サポートしていきます。

子どもの居場所づくり

子どもの健全な育成のために、子どもたちが放課後や休日に遊んだり、気軽に集まれる居場所を作ります。

地域子ども教室

週末や放課後に学校や公民館などで、遊びや体験活動、交流活動などを、地域が主体的に実施し、子どもたちの居場所を整備します。

佐賀市では、「居場所」=「遊び場」と位置づけ、小学校区を単位に実施しています。

学校開放事業

子どもたちへの体験活動や、生涯学習のための学習機会を提供するために、学校施設および教育施設の市民への開放を推進します。

山間部での体験活動の充実

都市部の子どもが夏休みなどに山間部の家庭などにホームステイすることにより子どもたちの交流を深めるような様々な体験活動を行います。

逆に、山間部の子どもたちが都市部での生活体験をするなど、相互交流を行っていきます。

PTAとの連携

PTAとの連携を図り、運動に参加する団体の活動を強化していきます。

*NPOとの連携

*NPO等との連携を図り、運動に参加する団体の活動を支援します。

(2) プロジェクトの進め方

スケジュール

(1)内容	具体的な取り組み	担当課	スケジュール				
			H18	H19	H20	H21	H22
1) 青少年の健全育成市民総参加運動	運動理念の明確化	青少年課	検討	実施			評価年度
	運動推進母体の構築	青少年課	検討	重点実施	実施		評価年度
	認証制度の構築	青少年課	検討	重点実施	実施		評価年度
	運動の推進	青少年課	検討	重点実施	実施	評価年度	
2) 関連して教育委員会が行う事業	運動に参加する団体、市民の学習の機会の提供と支援	青少年課 生涯学習課	検討	重点実施	実施	評価年度	
	子どもの居場所づくり	こども課 青少年課	検討	実施	評価年度	実施	
	地域子ども教室	青少年課	評価年度	実施			評価年度
	学校開放事業	教育総務課	実施	評価年度	実施		
	山間部での体験活動の充実	富士教育課 三瀬教育課 青少年課	検討	実施	重点実施	実施	評価年度
	PTAとの連携	青少年課 学校教育課 生涯学習課	検討	実施			評価年度
	*NPOとの連携	生涯学習課 教育総務課	検討	実施			評価年度

重点プロジェクト

**ふみだそう! 社会‘参画’教育推進プロジェクト
～ 社会教育牽引力の強化 ～**

概要と目的

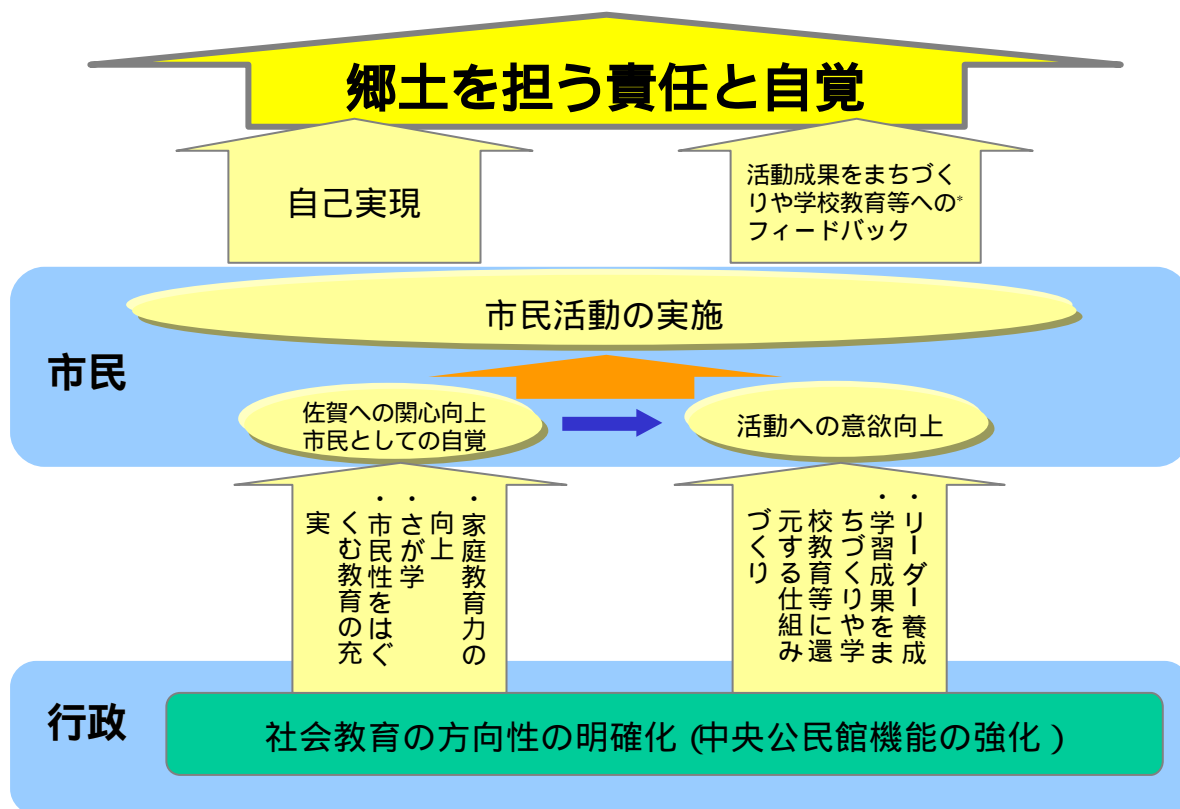
市民や社会教育関係者からは、教育委員会に対してこれまで以上に佐賀市の社会教育を牽引する役割を担ってもらいたいとの声が聞かれます。

地域による公民館の管理運営が進むことにより、地域の課題に柔軟に対応する公民館運営が可能となるいっぽう、佐賀市の社会教育の方向性に沿った施策の展開が必要とされてきます。このため、中央公民館の機能を強化していく必要があります。

具体的には、佐賀のよさを再確認する郷土学を創設し、学校教育での総合的な学習の時間や公民館・図書館の講座などで学ぶことで郷土を誇りに思う市民の育成を図っていきます。

そのほか、家庭教育力の向上や、子どもに対する「市民性をはぐくむ教育」を中心に活動し、市民としての責任と自覚を促す社会教育を推進していきます。

<重点プロジェクト のイメージ>



(1) 内容

1) 中央公民館機能の強化

具体的な取組み

佐賀市の社会教育の方向性の明確化

旧佐賀市と旧町村の公民館や図書館での社会教育活動の把握をしたうえで、社会教育活動の指針を作成し、佐賀市の社会教育活動の方向性を明確にします。その上で中央公民館が佐賀市の社会教育活動を牽引していきます。

生涯学習で得た知識、経験などを、家庭や地域社会、学校の教育力の向上に還元する仕組みづくり

地域人材活用事業の見直しやボランティア制度の見直しにより、学習成果を地域社会や学校で発揮できるようにします。

地域社会教育活動のリーダー養成

地域での社会教育活動や生涯学習活動を支援する公民館職員や、地域の活動の中心となる人材を育成していきます。

公民館運営の支援

地域管理の市立公民館に対し、職員の任用や公民館運営、主催事業の進め方などの支援を行います。

中央公民館と図書館の連携

郷土に関する資料をはじめとして、社会教育活動や生涯学習に役立つ情報などがこれまで以上に有効に活用されるよう、中央公民館と佐賀市立図書館との連携を図っていきます。

2) 「市民性をはぐくむ教育」の充実

具体的な取組み

「市民性をはぐくむ教育」の創設

子どもたちが、郷土や地域社会の構成員として必要な生活規範や社会のルールを身につけたうえで、社会参画の意識を持った大人への成長を促すために、地域や行政での社会体験活動を充実していきます。

また、子どもたちが市民の一人としてまちづくりや地域活動、定期的な子ども会議や各種会議等に参画し、これらの社会体験をとおりて地域社会の活動への関心や市民としての自覚と責任を高めていくような社会体験活動のカリキュラムを検討していきます。

「市民性をはぐくむ教育」の学校教育での推進

市民性をはぐくむために、地域だけの体験活動にとどまらず、学校教育でも取り組めるよう、学校との連携を模索していきます。

3) さが学(郷土学)の創設

具体的な取組み

さが学のプログラム開発

郷土の歴史、自然環境、文化などの研究者や大学等と連携して、郷土の豊かな資源(自然、歴史的・文化的なもの、人材)を活用した学習プログラムを構築します。

さが学の学校教育、社会教育両面での推進

「さが学」を学校の授業や公民館での講座などで学ぶことにより、市民に郷土を担う責任と自覚を促がしていきます。また、学校の総合的な学習の時間や公民館、図書館での講座などへ講師を派遣するなど、学校教育と社会教育による郷土学習を推進していきます。

さが学の学習成果のまちづくりへの還元

「さが学」を学ぶだけにとどまらず、まちづくりに寄与する市民の育成を目指します。

また、「さが学」に関する検定制度を構築し、学習成果の確認や目的意識を高める手段としていきます。

(2) プロジェクトの進め方

スケジュール

(1)内容	具体的な取り組み	担当課	スケジュール				
			H18	H19	H20	H21	H22
1) 中央公民館 機能の強化	佐賀市の 社会教育 の方向性 の明確化	生涯学習課 教育総務課	検討	実施	重点実施	実施	評価年度
	生涯学習 を、社会に 還元する仕 組みづくり	生涯学習課		検討		実施	評価年度
	地域社会 教育活動リー ダー養成	生涯学習課	検討		実施		評価年度
	公民館運 営の支援	生涯学習課	実施		評価年度	実施	
	中央公民 館と市立図 書館の連 携	生涯学習課 図書館		検討	実施		評価年度
2) 「市民性を はぐくむ教育」 の充実	「市民性を はぐくむ教育」 の創設	生涯学習課 青少年課	検討		実施	重点実施	評価年度
	「市民性を はぐくむ教育」の学校 教育での 推進	生涯学習課 学校教育課	検討	実施	重点実施	実施	評価年度
3) さが学(郷土 学)の創設	さが学のプ ログラム開 発	生涯学習課 学校教育課 図書館 文化財課	検討	実施	重点実施	評価年度	実施
	さが学の 学校教育、 社会教育 両面での 推進	生涯学習課 学校教育課			実施		評価年度
	さが学の 学習成果 のまちづく りへの還元	生涯学習課 学校教育課 文化財課				検討	実施

重点プロジェクト

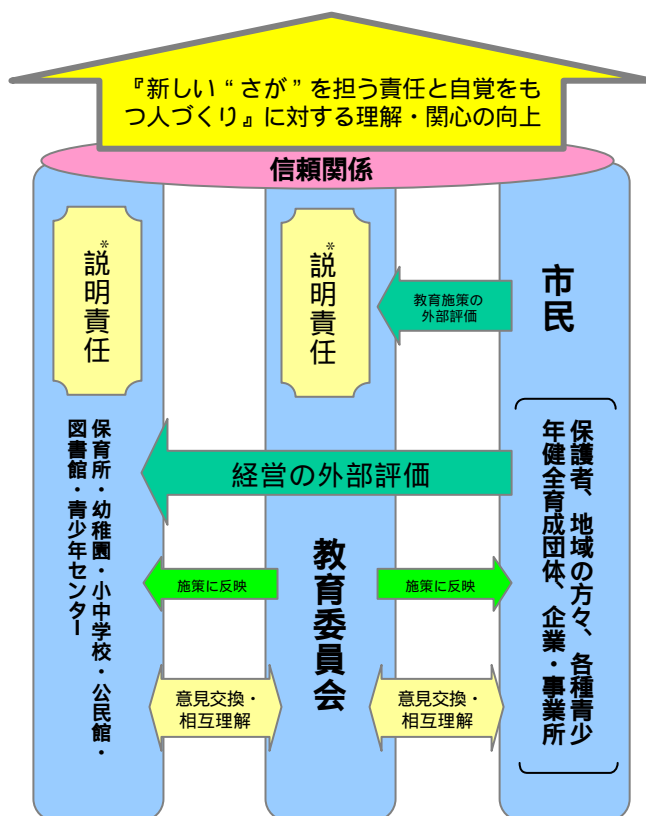
わかった！教育への関心向上プロジェクト ～ 市民に関かれた教育行政 ～

概要と目的

教育委員会が各重点プロジェクトをはじめとして各事業を実施し、家庭、学校、地域の教育力を高めていくには、家庭、学校、地域、企業・事業所等と行政の協力や各方面相互の連携が不可欠です。行政（教育委員会）は、これらの各種団体等の連携を取りもち、市民の力を引き出していかねばなりません。このためには、積極的に市民や教育現場職員と意見を交換し相互理解を深めていくこと、市民ニーズの把握や市民への説明責任を果たし、信頼されることが重要と考えます。

このことにより、市民の教育に対する理解や関心を高め、各方面からの教育に対する協力が得やすくなる環境づくりをすすめていきます。

<重点プロジェクト のイメージ>



(1) 内容

1) 市民の意見を取り入れる教育行政の展開

具体的な取組み

「教育委員と語る会」の開催

住民と教育委員が直接対話する機会を設け、市民の意見を広く求め、相互理解を一層深めていきます。

*市民満足度調査の実施

佐賀市の教育施策に関する*市民満足度調査を定期的に行い、市民のニーズや評価を把握し、調査の結果は公表していきます。また、評価結果を今後の事業の廃止も含めた施策の評価や基本計画の見直しに反映させていきます。

学校外部評価システムの向上

現在各学校で行われている外部評価システムの評価項目のうち、佐賀市立学校に共通する評価基準を設定する等、佐賀市の教育方針との整合性の確認等、評価制度の向上を目指します。

また、公立保育所や公立幼稚園についても運営方針の明確化や評価を実施します。

2) 教育現場の意見を取り入れる教育行政の展開

具体的な取組み

「学校ミーティング～教育長と語る会～」の開催

教育長と教育現場との職員の対話の機会をつくり、学校現場職員の意見を広く求め、学校と教育委員会の相互理解を一層深めていきます。

学校と教育委員会の連携、情報共有の推進

学校と教育委員会の連携を図り情報の共有を一層進めていくため、教育委員会において学校の学習指導や生活指導等の支援を行う窓口を見直していきます。

3) 教育行政の広報公聴機能の強化

具体的な取組み

教育行政の広報

これまでの広報活動に加え、ホームページやメールマガジンなどで、教育情報を市民に積極的に公開していきます。

公聴機能の強化とまちづくり団体等との連携

経済団体やまちづくり団体からも教育行政への意見聴取を積極的に行い、*協働した事業展開を検討していきます。

(2) プロジェクトの進め方

スケジュール

(1)内容	具体的な取り組み	担当課	スケジュール				
			H18	H19	H20	H21	H22
1) 市民の意見を取り入れる 教育行政の展開	教育委員と語る会」の開催	教育総務課	→ 実施 →		→ 評価年度 →	→ 実施 →	→ 評価年度 →
	*市民満足度調査の実施	教育総務課	→ 実施 →				→ 評価年度 →
	学校外部評価システムの向上	教育総務課 学事課 学校教育課 こども課	→ 検討 →	→ 実施 →	→ 重点実施 →	→ 評価年度 →	→ 実施 →
2) 教育現場の意見を取り入れる 教育行政の展開	「学校ミーティング～教育長と語る会～」の開催	教育総務課 学校教育課 学事課	→ 実施 →			→ 評価年度 →	→ 実施 →
	学校と教育委員会の連携、情報共有の推進	教育総務課 学校教育課 学事課	→ 実施 →			→ 評価年度 →	→ 実施 →
3) 教育行政の広報公聴機能の強化	教育行政の広報	教育総務課 学事課	→ 実施 →			→ 評価年度 →	→ 実施 →
	公聴機能の強化とまちづくり団体等との連携	教育総務課	→ 実施 →				→ 評価年度 →

重点プロジェクトの推進体制

各重点プロジェクトの実施については、教育委員会事務局内の推進体制を整備し、組織力をもって推進します。

各プロジェクトごとに、プロジェクトリーダーを中心にプロジェクトチームを組織します。

プロジェクトの内容は、複数の部署にまたがりますが、このプロジェクトリーダーは他部署の事業にも指示、命令、指導することができるよう、特別に教育長が任命します。

推進体制

プロジェクト	プロジェクトリーダー	プロジェクトチーム
高めよう！幼・保・小・中の「教育の質」向上プロジェクト ～公教育が目指すこども像の明確化～	学校教育課長	教育総務課、学校教育課、学事課、青少年課、こども課、図書館
やるぞ！市民総参加子ども育成プロジェクト ～市民が育てる佐賀の子どもたち～	教育委員会副部長 (副理事)	教育総務課、学校教育課、生涯学習課、青少年課、こども課、各出張所教育課、市長部局
ふみだそう！社会“参画”教育推進プロジェクト ～社会教育牽引力の強化～	生涯学習課長	教育総務課、学校教育課、生涯学習課、文化財課、青少年課、図書館
わかった！教育への関心向上プロジェクト ～教育委員会の*説明責任～	教育総務課長	教育総務課、学校教育課、学事課